



# ねりまの文化財

## 東京文化財ウィーク2024

11月1日から7日までの一週間は「文化財保護強調週間」です。全国で文化財保護と活用の推進を図るため、各種事業が行われます。東京都では、多くの皆様に文化財を身近に感じていただくため、文化の日前後を「東京文化財ウィーク」として、都内全域で様々な文化財の公開事業を実施します。区内では、次の事業を行います。

### 企画事業 尾崎遺跡の展示解説会

尾崎遺跡(春日町5丁目)は、石神井川左岸の標高35mの低地から台地にかけて立地する遺跡です。春日町5丁目12番の区立春日小学校建設に先立ち、昭和54年(一九七九)・55年に発掘調査を行い、旧石器時代から近世までの遺構や遺物が発見されました。

尾崎遺跡の発掘調査で見つかった出土品について、学芸員が解説します。

【日時】10月26日(土)

①午前10時〜 ②午後2時〜

※各回40分程度

【場所】春日小学校1階資料展示室

(春日町5-12)

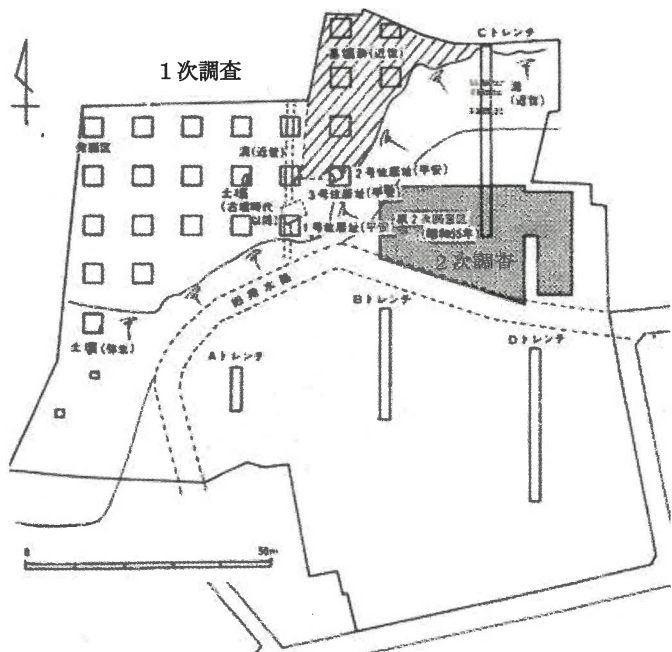
【交通】練馬春日町駅下車徒歩8分

【参加費】無料

【定員】各回10名程度



弥生土器(壺)



### 尾崎遺跡とは

昭和8年(一九三三)に行われた道路工事で、弥生土器(左上の写真)が発見

【申込】申込不要。当日会場にお越しください

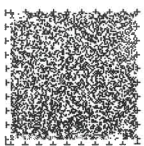
練馬区  
地域文化部  
文化・生涯学習課  
(伝統文化係)  
〒176-8501  
練馬区豊玉北6-12-1  
TEL 03(5984)2442

され、早くから遺跡の存在が知られていました。この土器は、平成3年度に区指定文化財となりました。

昭和54年の1次調査は遺跡の確認調査で、平安時代の竪穴住居3軒、中世や近世の墓壇(ぼこう)群と井戸、柱穴等や溝状遺構がみつかりました。昭和55年の2次調査で、低地部から台地部にかかる体育館予定地約800㎡の発掘調査が行われました。1次調査で見つかった遺構は、盛土をして保存しました。

昭和58年(一九八三)に都指定の史跡となり、また、出土品は平成4年度に区指定文化財となっています。遺跡名は、字名(あざめい)をとって尾崎(おさき)と名付けられました。

遺跡を特徴づける発見として、遺跡の低地部で見つかった、縄文時代の始まり、一万六千年〜一万一千年前の中野区の「江古田層」に相当する植物化石層群があります。植物化石は、ハンノキやカラマツ等の広葉樹や針葉樹の木材・種子・花粉等です。当時の自然環境は、現在より寒冷的な気候であったことがわかりました。



音声コード Uni-Voice

出土遺物は、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、奈良平安時代、中世、近世の多岐にわたります。

台地部では、関東ロームの立川ロームX層相当層から、①の局部磨製石斧(きよくぶませいせきぶ)が出土しました。刃部が磨かれている石斧で、長さ9.7cm、幅6.1cm、安山岩製です。X層は約三万八千年前といわれています。

縄文時代では、約八千年前の早期の丸底の完形土器が出土しました。②は、無文で、口径10cm、高さ20cmです。③は、口の部分に沈線がある簡素なつくりで、口



② 早期土器  
③ 縄文時代

① 旧石器時代  
局部磨製石斧

径5.4cm、高さ6cmです。この他に、底が尖った形の土器が出土しています。④は、縄文時代早期の石器で、スタンプ形石器です。自然の石を割って、手で握れるように加工したもので、木の実等をすり潰す道具です。いずれも砂岩製で、長さが10〜12cm、幅は10cm前後です。このような小型の尖底(せんてい)土器や石器の特徴から、縄文時代早期は、狩猟採集の生活で、食べ物を求めて移動をしていたことがわかります。

弥生時代以降では、弥生土器の台付甕(だいつきがめ)⑤と壺が出土しています。⑥と⑦の皿状の土器は、平安時代の坏(つ



④ 縄文時代早期の石器 スタンプ形石器



⑧ 火鑽白(ひきりうす)



⑥ 須恵器

⑤ 台付甕

⑦ 土師器

き)という器種で、⑥は須恵器(すえき)、⑦は素焼きの土器である土師器(はじき)です。土師器が、縄文土器や弥生土器と同じように屋外で焼くのに対し、須恵器は、登り窯で焼く、古墳時代に朝鮮半島から入ってきた土器製作技術によるものです。須恵器は特定産地の粘土を使っており、専門集団が土器を製作しています。また、区内ではめずらしい、須恵器の坏に「仲」と書かれた墨書土器が出土しています。

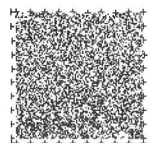


⑨ カワラケ・陶器

⑧は、火をおこす道具である火鑽白(ひきりうす)が出土しました。区内では2点しかない、貴重な木製品です。長さ14.4cm、幅5.5cmです。

中世や近世では、建物跡・井戸跡・墓壇がみつかっています。遺物は、中国からの輸入陶器である青磁や瀬戸、美濃焼等の皿(⑨下)やすり鉢、カワラケ(⑨上)、古銭等も出土しました。

これらの遺物や遺構は、寺があったことを物語っており、かつてこの場所に愛染院(現在 春日町4丁目)があったといわれています。





石神井公園ふるさと文化館主催  
東京文化財ウィーク2024  
参加事業

●特別展

「大漫会の漫画家たち―石神井公園の桜の木の下で―」

石神井台1丁目に位置する都立石神井公園。ここで40年近く、漫画家たちによ



大漫会の様子(令和6年4月)

るお花見の会が行われてきました。

昭和60年(一九八五)の冬に、石川サブロウ、村上もとかをはじめとする数名の漫画家とそのアシスタントたちが北海道旅行に行ったのをきっかけに、同年の春から地元・石神井公園でのお花見の会、通称「大漫会」がはじまりました。

その後参加者が増え、多い年には100名以上が参加しました。

本展では参加者から提供された写真や原画、描き下された色紙、漫画家の仕事道具などを展示し、練馬区に多くの漫画家が集ったことを紹介します。

【期間】9月14日(土)～11月4日(月・休) 午前9時～午後6時

【場所】同館 企画展示室

【観覧料】無料

●特別展開関連トークショー「編集者と漫画家の打ち合わせ」

【日時】9月29日(日) 午後2時～午後3時30分

【場所】同館 多目的会議室

【出演】石川サブロウ(漫画家)・鈴木晴彦(元集英社全コミック部門担当常務取締役。現「株」MISAKI代表取締役)

【定員】90名(多数の場合は抽選)

【参加費】無料

【申込】往復ハガキまたは館公式HP申込フォームにて、①イベント名、②氏名(ふりがな、申し込みは2名まで)、③住所、④電話番号を記入の上、石神井公園ふるさと文化館へ。9月13日(金) 必着

大漫会 案内状

●特別展展示解説会

【日時】9月19日(木)、10月19日(土) 午後2時から30分程度

【場所】同館 企画展示室

【解説】担当学芸員

【参加費】無料

【申込】不要。当日会場にお越しください。

●公開事業

「丸山東遺跡方形周溝墓出土品」

弥生時代後期の方形周溝墓から出土した壺形土器、鉄剣、ガラス玉、管玉かなる出土品(都指定有形文化財)を通年展示しています。

【場所】同館 常設展示室(無料)

●特別公開事業「小野蘭山墓誌」

江戸時代中期の本草学者(博物学者)である小野蘭山(一七二九～一八一〇)の墓誌(都指定有形文化財)を特別公開します。

【期間】10月26日(土)～11月4日(月・休)

【場所】同館 常設展示室(無料)



石神井公園ふるさと文化館

住所…〒177-0041練馬区石神井町5-12-16  
電話…03(39996)4060

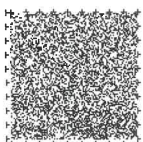
休館日…月曜日(月曜日が祝休日の場合はその翌平日)・年末年始  
開館時間…午前9時～午後6時

●石神井城跡発掘パネル展

石神井城跡(中世豊島氏の城跡、都指定史跡)の発掘調査当時の様子や成果などを、特別公開中の主郭内にて写真パネルで紹介いたします。

【期間】11月2日(土)～11月4日(月・休) 午前10時～午後4時

【場所】都立石神井公園内石神井城跡(石神井台1丁目)(無料)



区内の国指定・都指定  
文化財の公開情報

●国指定天然記念物

練馬白山神社の大ケヤキ

【所在】練馬 4-2 白山神社境内

【交通】豊島園駅 下車 徒歩 5 分

●国指定天然記念物

三宝寺池沼沢植物群落

●都指定史跡 石神井城跡

【所在】石神井台 1-27 ほか

都立石神井公園内

【交通】石神井公園駅 下車徒歩 15 分

●都指定名勝及び史跡

牧野記念庭園(牧野富太郎宅跡)

【所在】東大泉 6-34

【交通】大泉学園駅 下車 徒歩 5 分

【時間】午前 9 時〜午後 5 時、火曜  
休園

●都指定有形文化財

小野蘭山墓及び墓誌

【所在】練馬 4-27 迎院墓地内

(墓誌の公開は別所、3 頁参照)

【交通】豊島園駅 下車 徒歩 5 分

●都指定旧跡 池、水道雲臺

【所在】練馬 4-27 受用院墓地内

【交通】豊島園駅 下車 徒歩 5 分

●都指定史跡 東高野山奥之院

【所在】高野台 3-10 長命寺境内

【交通】練馬高野台駅 下車 徒歩 5 分

文化財保護推進員の  
活動を紹介します!

練馬区では、昭和 63 年から文化財保護条例に基づき、文化財保護推進員制度を導入しています。令和 6 年 4 月 1 日付で、第 19 期練馬区文化財保護推進員として、12 名を委嘱しました。再任の 11 名に加え、松本氏が新しく就任しました。任期は 2 年です。

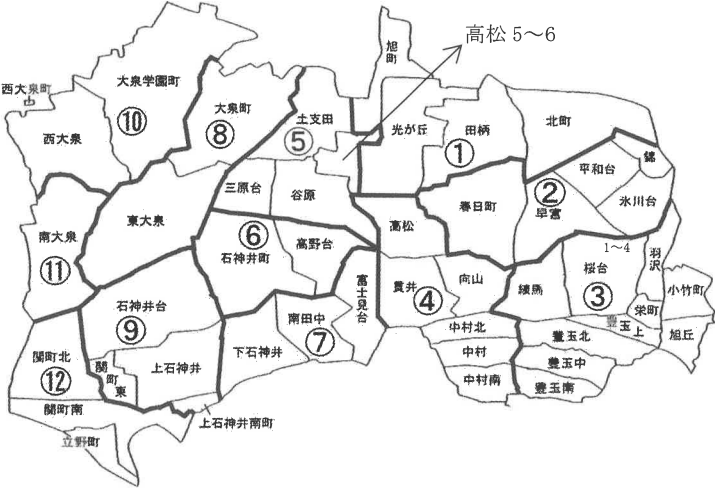
下図のとおり、練馬区を 12 の地域に分け、文化財保護推進員の担当区域としています。

各推進員は、担当する地域の文化財等の巡回や調査を行い、保存状況等の把握に努め、文化財の保護・保存のための活動をしています。巡回の際には、文化財所有者の方に文化財の現状についてお話を伺ったり、文化財のご近所にお住まいの方に、情報収集をさせていただくこともあります。

日頃の活動成果は、年 3 回開催している、文化財保護推進員連絡会で報告され、区では文化財の現在の状況を把握し、必要に応じた対応を行っています。

これらの活動以外にも、区主催の文化財関連事業への協力を通して、文化財の保護、普及に努めています。区民の皆様には、区内の文化財に関

心を持たれるとともに、文化財保護推進員の活動にご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。



①岩崎秀男



②須藤麻世



③八巻孝夫



④西勝克明



⑤関洋一



⑥伊藤義夫



⑦松本恵子



⑧吉岡恭子



⑨木村綾子



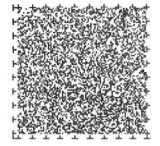
⑩小林巧



⑪松下真理



⑫上野圭一



音声コード Uni-Voice